

【記載例】(変更)

実践型人材養成システム実施計画

- 1 訓練コース名 ソフトウェア開発者養成コース
- 2 訓練実施機関 実習等(OJT):株式会社実践
座学等(Off-JT):ABCD株式会社
- 3 座学等(Off-JT)訓練実施場所
※①実施計画認定申請書(様式7号)の第1(3)②に記載した住所と実施場が異なる場合に記載する。
※②申請事業主の施設を利用する場合は、賃貸借契約書、誓約書の写し及び見取図を添付すること。

〇〇県〇〇市1-2-3
(株式会社実践の会議室を使用)
- 4 訓練期間 平成年30年4月1日～平成30年10~~9~~月31~~30~~日
- 5 訓練時間 1,050 ~~900~~時間
(うち、OJT:700~~600~~時間、Off-JT:350~~300~~時間)
- 6 訓練の対象者数 1人
- 7 教育訓練目標
システムインテグレーションのソフトウェア開発において、プログラミング、ソフトウェアテストができる能力を習得させ、これにより、将来、当社のソフトウェア開発部門の中核となる人材を育成する。
- 8 教育訓練カリキュラム(教育訓練の教育課程又は職業訓練の訓練課程)
別添1のとおり
- 9 職業能力の評価の方法(ジョブ・カード様式 3-3-1-1(職業能力証明(訓練成果・実務成果)シート(企業実習・OJT 用)))により評価する。なお、「Ⅲ技能・技術に関する能力(2)専門的事項」は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「日本版デュアルシステム訓練終了後の評価項目作成支援ツール」から」作成した。
- 10 備考